

しなののうた

石段の四百三を上るれば真つ盛りなる紅葉耀う

l. NI

杉田小百合

しなののうた

暮れ残る道を賑わす尾花揺れ車窓に映る光の妖し

杉田小百合



しなののうた

折り返しできぬ吊り橋真ん中で綱に頼みの命を託す

l. NI

杉田小百合

しなののうた

黒煙を吐きつつ走るSLに若きひ偲ぶ通学列車

杉田小百合



しなののうた

待ち受けるSLを撮る旅人に汽笛一声溪に響けり

l.MI

杉田小百合